

令和3年度デイパーク大府事業活動報告

新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言等、不安の中の一年がすぎました。新しい生活様式の啓発、皆様への制限や自粛のおねがい、面会・外出制限や、職員の行動規制、リモート面会の推進、利用者・職員のPCR検査、感染予防対策を徹底しながら運営継続し、幸いにもクラスター発生する事なく、厳しい状況の中でも、「和」を大切に長福会本来の力が発揮できました。

公益性の発揮、質の高い福祉サービスを継続して提供し、感染予防徹底し安心して利用できる運営体制や人材の育成、「地域の皆様に愛され、頼られるデイパーク大府」を継続して取り組んだ一年でありました。

法人全体

① 施設及び体制整備

- ・館内空調・換気設備を追加更新し、抗菌洗浄、三蜜の回避行い感染拡大防止対策を重視した整備行いました。
- ・安全衛生・感染予防対策委員会（33回開催）、職員体調WEBアンケート（延べ13500回、回答率60%）、感染予防啓発を促し、まん延予防に努めました。
- ・現在6名の障がい者の方が職員として勤務し、障がい者雇用率（5.85%）充足を達成したため、令和4年度も引き続き奨励金の受給法人となります。
- ・利用者支援
- ・毎月の行事食や嗜好アセスメントも定着し、食事提供改善に取り組んでいます。
- ・機器を導入し、飛沫対策を徹底し、音楽リハビリを実施してきました。
- ・面会についてはリモート面会を（特別宣言下除く）積極的に活用しました。
- ・年間100回程度の買い物支援、移動販売等で買い物を楽しんでいただきました。

② 地域貢献

- ・利用者と共同し法人全体の防災訓練を実施しました。
- ・障がい者就職トレーニングセンターと連携し、職場相談支援行いました。
- ・市の委託事業とは別に独自契約の配食サービスにおいて、14名、延べ5600食を夕食宅配と合わせ安否確認を実施しています。
- ・感染予防対策徹底し、会議室を地域自治会や子供会の会議等にご利用いただいております。

ケアハウス事業報告

ケアハウス 利用定員 30名

令和4年4月1日現在 29名（2名退所、1名入所）

令和3年度 新規入所者 4名 退去者 5名

施設開所から20年以上が過ぎ、開所時からの入居者されている方が1名お見えになります。その他に10年以上の長期の方も多数入居されておりますが、毎年4名前後の方は入退去で入れ替わり、全体的に新鮮な雰囲気の様変わりしております。

長期に利用されている利用者も多く、月日と共に介護認定入居者も増えてきて。薬の管理に注意が必要な人や訪問介護等の利用を受けて、ケアハウスの生活が成り立っているご入居者様も出てきています。

今年の生きがい活動として、従来行っていた陶芸教室、健康体操、絵手紙教室、手芸教室、カラオケ等、集団で実施するレクは軒並み中止となり、感染予防対策として個別レク及び密にならないように、入居者の入れ替え制を導入して、クリスマス会、お花見会等を行なわせて頂きました。With コロナの中でのレクリエーションも2年目を迎え、試行錯誤しながら両立の方向性が定まりつつあり、ご入居者様にとって潤いのある生活を送って頂くための、生きがい支援活動を実施する事ができました。

毎月定期的に行っている買い物ツアーについて、生きがい支援活動の一環としてだけでなく、感染予防対策としての側面も意識して行ってきました。食糧品を含めた日用雑貨品等はケアハウスの生活する上で、必要不可欠なものであります。密にならないように配慮して、予防対策を施した、施設の送迎車を定期的にご利用することにより、外部との接触を軽減すること、まとめて購入することを促すことにより、不要不急の外出削減にも一翼を担ってきたと考えております。1回の参加者は7名前後で、入居者の希望を伺いながら、感染予防対策を実施しているお店を選択、外出することにより社会参加活動の他、自粛ムードの中での気分転換も図れると考えております。

入居者様の中でご希望者には機能訓練指導員の指導により、定期的な体力測定とトレーニングマシンの活用を促し、アンチエイジングに取り組んできました。

入居者様の生活調査として、定期的に管理栄養士と担当者による入居者様との面談を行い、嗜好、健康、日常生活、食事（献立）などの検討を行って生活向上に貢献しております。

入居者の生活向上の応援として、市内の医療機関や公共施設、共和駅、大府駅等を巡回する無料送迎サービスを引き続き行ってきました。

現在は、コロナウイルスの関係で面会や外出支援も以前のようにはいかず、制限を設けて窮屈な生活を強いられております。少しでも潤いのある生活を持って頂けるよう、定期的に来所される訪問販売に対して、入居者に購入リクエストを伺い業者との間を取り持って、希望の商品が購入できるようにも支援してきました。

延べ利用者数名 7,212名

稼働率 76.9% (前年度稼働率 83.8%)

	稼働日数	延べ人数	人員数	平均利用者数	稼働率
4月	26日	626	59	24.1	80.3%
5月	26日	643	62	24.7	82.4%
6月	26日	606	64	23.3	77.7%
7月	26日	593	61	22.0	73.2%
8月	27日	620	63	23.8	79.5%
9月	26日	652	64	25.1	83.6%
10月	26日	638	60	24.5	81.8%
11月	26日	671	63	25.8	86.0%
12月	27日	668	61	24.7	82.5%
1月	25日	522	52	20.9	69.6%
2月	24日	385	40	16.0	53.5%
3月	27日	588	48	21.8	72.6%
					76.9%

昨年度もまた、新型コロナウイルスの影響は大きく、稼働率は減少傾向となっています。特に、1月・2月においては、所内で感染者（職員2名、利用者4名）を確認。一時的に利用を控える方や体験・新規利用の問い合わせが少ない時期もあり、さらに厳しい稼働となりました。

《課題・分析》

今後、稼働を上げていくためには、新規利用者の獲得とできる限り新型コロナウイルスの感染を抑えていくことだと考えます。新規利用者を紹介いただけるように居宅介護支援事業所や包括支援センターと顔の見える関係が築けるように努めていきます。また、コロナ禍により、交流の場面や活動の機会は縮小されていますが、社会情勢を踏まえ、少しずつサービス内容を緩和していけたらと思います。所内で感染者を確認したことで、稼働に大きな影響が及びました。日々の感染予防対策の徹底や水際対策、迅速な対応等を強化していきます。

《感染予防対策》

高齢者施設でのクラスターは増加傾向と聞きます。引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者に安心してデイサービスへお出掛けいただけるように努めていきます。

《サービスの充実・職員の資質向上》

外部講師による研修・eラーニングを活用した法人主催の研修に参加しています。研修で学んだ内容を普段の仕事に生かし、利用者の満足度向上につなげていけるように努めていきます。

延べ利用者数名 6,674名

稼働率 71.2% (前年度稼働率 82.2%)

	稼働日数	延べ人数	人員数	平均利用者数	稼働率
4月	26日	568	67	21.8	72.8%
5月	26日	549	59	21.1	70.4%
6月	26日	546	59	21.0	70.0%
7月	26日	609	59	23.4	78.1%
8月	27日	592	60	21.9	73.1%
9月	26日	614	59	23.6	78.7%
10月	26日	581	56	22.3	74.5%
11月	26日	596	59	22.9	76.4%
12月	27日	605	60	22.4	74.7%
1月	26日	490	56	18.8	65.3%
2月	24日	421	51	17.5	58.5%
3月	27日	503	52	18.6	62.1%
		6674	697	21.3	71.2%

昨年度は、新型コロナウイルスの影響もあり前年度に比べ稼働率 11%減少致しました。7月～9月は新規利用者の獲得も若干あり稼働率が一旦上昇したものの、2月に入り、入所される方、利用中止の方、コロナ関連にて利用を控える方などが増え、稼働率7%近く減少となりました。その後、新規利用者が獲得できず、毎月減少傾向となってしまいました。

《課題・分析》

昨年度より利用者人員が徐々に減っている状況ではあったが新規利用者獲得ができず、関連機関への営業努力不足及びPRの仕方などに問題があったと考えております。また、新型コロナウイルス感染拡大により行事・イベントなどが中止になり、事業所内での創意工夫も足らなかったと考えております。

今後は、営業の仕方、PRの仕方を考え、実践していけるよう努力し、利用者拡大に全力で努めたいと考えております。

《感染予防対策》

感染症予防対策を徹底し、実際に行えているかの確認も行います。

《サービスの充実・職員の資質向上》

外部研修・e-ラーニングにて法人研修に積極的に参加いたしました。今後もケア会議等で多職種連携を図り、利用者、家族、ケアマネジャーとの情報共有を行いながら、信頼関係構築に努めてまいります。

《活動内容》

活動内容の選択肢を増やす為、ご利用者様がどんなことに興味があるか興味関心チェックシート用いて情報収集を行いました。

クラブ活動を充実させることより各利用者のニーズに応えられるよう支援を行いました。

個別機能訓練については、身体機能を活用して生活機能向上を図り、利用者様が居宅において自立して暮らせることを目的として実施できるように目標設定を行いました。

短期入所事業所 定員 30 名

<稼働について>

昨年度は新型コロナウイルス第 6 波の影響を受け、法人で初めて 1 月末～2 月中旬までにご利用者様 2 名、職員 3 名に“陽性反応”が出て 14 日間の入所停止をいたしました。その後、職員 1 名が濃厚接触者となり日程及び勤務調整に追われましたが職員一同、協力して業務を行い乗り切ることができました。

<感染予防について>

引き続き事業所内の感染予防対策やご利用者様・職員の体調管理、体調不良を早期発見するべく感染についての BCP 事業計画に添った援助が行えるように準備して参ります。

※下記の表は令和 3 年度事業所の稼働率と大府市の新型コロナウイルス感染状況及び事業所内感染者数を示します。

令和 3 年度 稼働率及び新型コロナウイルス感染状況 (大府市)

令和 3 年 4 月	令和 3 年 5 月	令和 3 年 6 月	令和 3 年 7 月	令和 3 年 8 月	令和 3 年 9 月
稼働率 85.0%	88.4%	88.8%	87.5%	87.8%	84.7%
感染者数 大府市 88 名	大府市 80 名	大府市 31 名	大府市 38 名	大府市 282 名	大府市 209 名
令和 3 年 10 月	令和 3 年 11 月	令和 3 年 12 月	令和 4 年 1 月	令和 4 年 2 月	令和 4 年 3 月
81.8%	85.9%	87.0%	85.8%	64.4%	82.6%
大府市 6 名	大府市 20 名	大府市 10 名	大府市 600 名 ご利用者 1 名 職員陽性 2 名	大府市 1845 名 ご利用者 1 名 職員陽性 1 名	大府市 1084 名 職員濃厚 接触者 1 名

<入所中止>

表を見ると感染の状況に応じて稼働率が変動しているのがわかります。稼働率の減少は感染拡大により新規の照会や受け入れの動きがストップすることも原因の 1 つであると言えます。今年度もケアマネジャーや病院のソーシャルワーカーと連携を図り稼働率 90%以上を目指します。

<昨年度新たな取り組みについて>

長年使用してきた本館 6 階、寝台浴の入替工事を行いました。ご利用者様にも大変好評で気持ちよくお風呂に浸かれると言った言葉も頂いております。昨年度も桜祭り・夏祭り等の恒例行事が行えませんでした。事業所内では機能訓練に力を注ぎ、お泊り頂いている間の健康管理・身体機能の維持やできる限り退屈しないように工夫を凝らした援助を行って参りました。

計画目標	稼働率 90.0%	年間 9855 名
昨年度実績	稼働率 84.2%	年間 9230 名

居宅介護支援事業所 定数 4 名

・年間延べ利用者数 1 6 7 5 名。要介護者 1 3 5 1 名、要支援・介護予防ケアマネジメント対象者は 3 2 4 名を受け入れました。

当初目標は要介護者年間延べ利用者数 1 3 0 0 名、要支援者 年間 3 0 0 名
目標予定達成いたしました。

介護支援専門員 4 名（内、主任介護支援専門員 2 名）を配置し特定事業所加算（Ⅱ）の加算取得を維持し、安定したケース受け入れができたため目標数値を超えたと思われま

・地域の困難事例への支援、入退院時の医療との連携など他職種と連携を図り支援いたしました。地域包括支援センター及び近隣の医療機関からの依頼、相談ケースを含め年間相談件数は 5 1 件でした。

・他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者 4 事業所と共同で事例検討会等の研修を年 2 回（1 1 月・3 月）開催、事業所内伝達会議（事例検討含む）を週 1 回程度実施し介護支援専門員の資質向上を図りました。

・知多北部広域連合主催のオンデマンド方式による研修や地域包括支援センターによる事例検討会に参加いたしました。

・大府市介護支援専門員連絡協議会の会員として目的に賛同し活動しています。
大府市主任ケアマネの会（zoom 会議）に参加し、地域の介護支援専門員との交流を図り情報交換いたしました。

・令和 3 年度第 2 2 ・ 2 3 回の愛知県介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れ、指導方法等習得し事業所内の介護支援専門員の資質向上を図りました。

・地域包括ケアシステムの構築に向けた法人全体の取り組みと合わせ、地域連携の入り口としての役割を担えるよう支援しています。

・法人内の業務の効率化に向け、「サービス種別ごとに利用者が登録されている利用者を一本化」し、「福祉の森 F U T U R E」の利用者情報の統一を今後も継続いたします。

・訪問及び面談時は新型コロナウイルス感染予防に努め、ご本人様、お家族様の支援を行いました。今後も新型コロナウイルス感染予防等に努め支援いたします。

特別養護老人ホーム 利用定員 80 名

新規入居者数 20 名 退居者数 28 名

稼働率 92.4 % (前年度稼働率 93.3 %)

令和 3 年度退居者数は 28 名、例年の 1.5 倍の方の退居でした。そのうち 7 割弱の方を当施設で看取らせて頂きました。

新規入居者様 20 名、コロナ感染対策を重視し入居に関しては慎重に緊急事態宣言やまん延防止期間はさけて実施していきましました。9 月以降退居される方増える一方、施設や病院で感染者が増えた時期と重なり、スムーズに次の方入居ができず、稼働率が後半平均 87%で経過した結果年間収入では昨年比に比べ 250 万の減収となりました。年間平均稼働率では 0.7%減となっております。

入院者数年間 23 名、救急搬送 15 件、骨折での入院 5 件、肺炎・胆のう炎など炎症性疾患の方も多くありました。入院期間もコロナ感染の関係で退院できない方もあり長引くケースもありました。今後も医療機関との連携を速やかに行い退院することができるようにしていきます。入居者様の状態把握に努めなるべく嘱託医での治療で施設の生活ができるように多職種連携していきます。

感染対策の為にご家族との面会ができずウェブ面会を中心に実施してきました。

年末に感染者数が減った時には直接面会もできました。

しかし、入居者様の楽しみは半減しているのは現実です。個別ケアを目標に寿司の出前やユニット内での体操や個別でのリハビリ等を実施、調理レクやカラオケ等も行っていきます。ご家族様には写真やご様子報告を郵送させていただき、職員一同今後も少しでも心が潤うようなことを継続して考えていきます。

令和 4 年 3 月、1 名コロナ感染発症、軽症の為入院できず、感染対策を行い 10 日間当施設内での療養となりました。まだまだ気を許すことなく感染対策を行い、定期的な訓練もユニット内で行い、職員の PCR 検査も実施していきます。

グループホームデイパーク大府

定員数 2ユニット 18名
月平均稼働率 ⇒95.2%
入居者年間延べ ⇒6258名

- ・令和3年度コロナウイルスによる感染対策を実施してきました。職員の就業前検温、アルコール消毒、マスク着用の徹底、また年度末からですが愛知県の高齢者施設等職員対象の無料スクリーニング検査（PCR検査）を実施しております。
ご入居様に対しても外出の制限、食事作りや配膳の制限、ご家族との面会の制限など、感染防止に努めてまいりました。いろいろな制限の中で入居者様との関わりや支援を行い、令和3年度も入居者様・職員ともに陽性者を出すことなく過ごす事が出来ました。
- ・年間を通してのイベントやレクリエーションもコロナ状況の中、前年度同様に季節を感じて頂く時期はドライブ見学の外出支援、フロア内でのイベントレクを感染対策徹底した企画をもとに実施いたしました。
- ・面会が制限される中、ご家族へはホームにてリモート面会を実施しています。
年末に愛知県内感染者数が減少しコロナ状況が落ち着いていた時期にリモート面会を解除し、直接面会（条件付き）を再開しました。多くのご家族からの予約がありご家族・入居者様も大変喜ばれました。年始になり全国で急激にコロナ感染者が増加し当法人も再度直接面会を中止することとなりました。
- ・残存機能の低下防止や気分転換を目的に毎日の体操や廊下歩行運動、階段昇降運動、近所周辺のお散歩を積極的に実施しています。また入居者様の役割としてごみ捨てやお花の水やり、草むしりなども個別に実施しております。
- ・令和3年度は6名の入居者様が退居（5.6.10.11.1.3月）されています。
皆様全員、特別養護老人ホーム（当法人）への入居となっております。
（身体的ADLの低下での退居が4名 転倒による骨折での退居が2名）
- ・外部評価によるご家族様アンケートにて、「ご家族からの感謝のお言葉が多くありました」とのご報告がありました。
- ・運営推進会議は奇数月（5・7・9・11・1・3月）に実施しています。
すべて書面での開催となりました。（感染予防対策のため）